令和7年1月定例会議事録

令和7年1月8日

鹿屋市教育委員会

○日 時 令和7年1月8日(水)
15時から17時まで

○場 所 第3委員会室

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	早 川 雅 子
教育委員	遠 矢 達 一
教育委員	浜 田 幸 史
教育委員	四郎園 佳 恵

○関係者

教育次長	川 越 太
教育総務課長	隈 元 成 人
学校教育課長	新 屋 公 彦
生涯学習課長	宇 井 知 隆
教育総務課課長補佐	原 田 竜 哉
教育総務課総務係長	東 倉 晃

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
 - (1) 議案第15号 令和6年度 社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰について
- 5 報告
 - (1) 教育委員の任命について
 - (2) 令和6年12月鹿屋市議会定例会の一般質問について
 - (3) 国立台北教育大学からの実習生受入について
 - (4) 令和6年度看護専門学校別棟改修工事の完了について
 - (5) 鹿屋市二十歳の集いについて
 - (6) 第77回優良公民館表彰について
- 6 動議の討論等
- 7 その他
 - (1) お知らせ
 - ① 第9回 キッズビジネスタウン®の実施について
 - ② 鹿屋市美術展について
- 8 閉会

○議決事項

議案番号	件名	審議の状況	採決次第
議案第15号	令和6年度 社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰について	特記事項なし	原案可決

○議事要旨

1	開 会
教育長	<p>4日に執り行われた「二十歳のつどい」の際は、教育委員の皆様方には大変お世話になった。</p> <p>本日、小中学校や高等学校は始業式であったが、全体で約600名が欠席し、インフルエンザによる欠席者数は約200名であった。検査結果が陰性でも発熱で欠席している状況である。</p> <p>また近年は、家族旅行が理由で欠席する場合が増えており、価値観の多様化が象徴的であると感じる。</p> <p>本日も宜しく願いたい。</p>
2	前回の議事録の承認
教育長	異議なく承認
3	教育長及び委員の報告
早川委員	<p>家族旅行が理由で学校を休むという件について、例えば家庭裁判所で子どもの親権者を決めるときなどに調査官による調査があるが、その場合に学校は欠席扱いになる。公然と旅行で欠席する場合と同等の扱いになるのはどうなのかと感じる。1日休むだけでも成績に響くなどの理由で、調査日を休校日に調整する高校生の家庭もある。会社員は、裁判所が発行する証明書を勤務先に提出することで欠勤扱いにならない。家庭裁判所が必要だという時には、学校も欠席扱いにならないようにできないのか。</p>
教育長	<p>本市のみに限ったことではないため確認する。時代に沿った対応も必要になってくると思う。一つ一つ良い方向になるように取り組む。</p>
4	議事
生涯学習課長	<p>(1) 議案第15号 令和6年度 社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰について</p> <p>資料に基づき説明</p>
遠矢委員	<p>どのような方法で推薦があがってくるのか。</p>
生涯学習課長	<p>市内の全小・中・高等学校や公民館・学習センター、各種社会教育関係団体、文化協会、スポーツ協会などの関係団体にも推薦の案内をし、あらゆる方面から推薦できるような仕組みづくりをしている。最近は、</p>

教育長	<p>スポーツ協会から毎年1団体挙がる形になっており、今回はボクシング協会が挙がっている。文化協会も同様である。尚、表彰式は2月13日を予定している。</p> <p>原案可決とすることに異議はないか。</p> <p>(異議なしとの発言)</p>
教育長	<p>異議がないので、議案第15号は、原案可決とする。</p>
5	報告
教育次長	<p>(1) 教育委員の任命について</p> <p>資料に基づき説明</p>
教育次長	<p>(2) 令和6年12月鹿屋市議会定例会の一般質問について</p> <p>資料に基づき説明</p>
早川委員	<p>「オーガニック給食の導入について」に関して、これ迄の答弁と比べると、一步前進する感じに受け取れるようだがどのような変化があったのか。</p>
学校教育課長	<p>学校給食センター連絡調整会議においては、安全安心な給食を提供する取組について情報交換し進めているが、オーガニック給食についても、この会議の中で検討を進めることとなる。また、鹿屋市有機農業推進協議会に参画し検討する。</p>
教育長	<p>令和6年6月に鹿屋市有機農業推進協議会が農政部に設置され、有機栽培の専門家や業者と生産者を交え、学校給食に活用できる仕組みづくりが整いつつある。生産者が給食に使える材料の生産は確定していないが、取り組むことができる事から進めている。また、近年の物価高騰の影響もあり、他県では基本の給食費を保護者が負担し、オーガニック食材で費用が超える部分は自治体が補助しているようだ。本市の場合は、給食費を全額負担している。有機農家を育て進めていくことも本市全体の農業のあり方の方向性の一つであり、その販路先としての学校給食センターは意味がある。</p>
浜田委員	<p>「いじめ防止対策について」に関して、「いじめ」や「不登校」につ</p>

	<p>いては毎議会で質問が上がる。教育や議会に関わる方であっても、ジェネレーションギャップを感じる発言が出てしまうことがある。今このように積極的に認知していることを、このような機会があるたびに伝えて説明することが大切だと考える。「不登校児童生徒の支援」に関してリーフレット作成にあたり、仕事で小中高大短大、専門学校生に関わってきたが、不登校傾向のある児童生徒は、大なり小なり講師が手厚く丁寧に対応していたがために、次のステップでうまく対応できない児童生徒が多いと実際に肌で感じている。子ども達の自立コントロールを支援することを目標とすることを、保護者や関係者にしっかりと伝えることが大切だと考える。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>いじめの積極的な認知については、1件でも多く見つけて認知し、1件でも多く解決する考え方が基本であり、件数のみを捉えるのではなく、多く認知したという考え方である。例えば、学期毎にいじめの発生件数の報告を受ける際に、0件の報告があった場合には、子ども達の様子を観察できているのかを再確認し、結果、学校と教育委員会が連携を取る。このような取り組みをしていることを保護者や地域の方々にも認知していただくように努める。不登校児童生徒の支援を手厚く行うことで次の学びの場で馴染めないという部分だが、まずは自分の居場所がある事で頑張れ、達成感や満足感を味わい、このような感情を繰り返すことで次の学びの場でも頑張れるという状況を作る事が大切である。</p>
<p>教育長</p>	<p>「鹿屋市不登校児童生徒支援リーフレット（仮称）」を本年度中の完成を予定して作成しているが、委員の皆さんにもご意見を伺いたいと思っている。</p>
<p>早川委員</p>	<p>いじめのきっかけは、ちょっとした悪ふざけが第一歩となっていることが多く、極悪非道な人間がいじめの加害者になるのではない。いじめの想像力や実態の認識を変えなければならないと思う。</p>
<p>教育長</p>	<p>国も、いじめの定義が変わってきて、「からかい」と「悪口」をいじめに包括して「いじめ」として捉え指導する方向に変化してきた。受ける側は、「悪口」や「からかい」も精神的に苦痛を強いられ、いじめと認識される。早期に発見することを前提としているが、学校側の「からかい」の認識に相違があれば発見が遅れたり報告が遅くなる。そのような部分を教育委員会は十分注意して取り組む。</p>
<p>遠矢委員</p>	<p>春に、「鹿屋市不登校児童生徒支援リーフレット（仮称）」を小中学</p>

生涯学習課長	<p>校に配布する予定であるようだが、実際に不登校になった時に保護者向けに改めて届ける予定はないのか。また、気軽に相談できるような内容のリーフレットにして欲しい。</p> <p>青少年問題協議会・実務者連絡会での協議を受け配布する。不登校になった場合の案内をホームページに掲載しているが、積極的に介入できる仕組みを考える。内容については、児童生徒向けには「楽しく学校に行けるようにしたい」ための相談窓口の問い合わせ先や、不登校以外に引き籠りなど若年期の青少年や40歳までを対象としたワンストップとなっている。</p>
早川委員	<p>ホームページであれば悩みの項目を大きく表示し、そこをクリックすると知りたい内容のリンク先を開けるようにした方が分かりやすいと思う。</p>
四郎園委員	<p>相談しやすさということでリナシティ内に相談室があるが、利用状況について伺いたい。</p>
生涯学習課長	<p>大体、月に10件から20件程度の相談がある。最近は、高校生の保護者からいじめの相談を受けた。今回の事例に関しては教育委員会対応の判断とし対応した。相談事例によって相談員、他の機関、教育委員会の大きく3つに分けて対応している。</p>
早川委員	<p>中央公民館からリナシティ内に相談室が移動したが、設置場所は現在の所で妥当なのか。</p>
生涯学習課長	<p>電話での相談が多い。相談室の案内板を設置しているが、場所が分かりにくいという声があった。しかし、相談者は他人に見られたくないという意識から表立った場所よりも利用しやすいという声もある。昨年度の中央公民館の時と比較すると利用件数は若干減っているが、利用推移を観察し認知され利用しやすいよう、来年度の相談室のあり方を考える。</p>
四郎園委員	<p>相談件数が少なくなっている事を聞くと、案内パンフレットが学校から年に2回程届くものの、保護者として利用を考えたときに、この程度で相談しても良いのか迷うことがある。相談内容の具体例を示していただけると利用が少しでもしやすくと感じる。</p>

生涯学習課長	<p>相談事例を多く示し、相談内容を細分化してより多くの方に利用していただけるようにしたい。</p> <p>(3) 国立台北教育大学からの実習生受入について</p>
学校教育課長	資料に基づき説明
教育長	現在の協定校数と、今後は何校協定を結ぶ予定なのか。
学校教育課長	現在11校で、2月のPR大使派遣のときに、新たに8校加わり全19校と協定を結ぶことになる。この8校の中には市立の女子高校が1校あり、鹿屋女子高と協定を結ぶ。
四郎園委員	ホームステイの受け入れを考えたときに、私立高校の入試などと重なるため、時期を変えることはできないのか。
学校教育課長	受験やインフルエンザなど気にかかる時期ではあるが、台北大学の年間スケジュール上、実習生が来鹿できるのがこの時期のみであり、鹿屋女子高のイングリッシュカフェや総合選択制も受験に支障がない1、2年生を中心に計画する。
教育長	<p>日本は教育実習が9月に実施されるが、台湾は入学式や卒業式の時期であり日程調整が難しい。ホームステイに関わった家族と実習生は、以降も良好な関係が継続しているようだ。</p> <p>(4) 令和6年度看護専門学校別棟改修工事の完了について</p>
学校教育課長	資料に基づき説明
	(5) 鹿屋市二十歳の集いについて
生涯学習課長	資料に基づき説明
教育長	今年の改善点を伺いたい。
生涯学習課長	今年は、インドネシアやベトナムの技能実習生を招いたことを新たに取り組んだ。

遠矢委員	技能実習生は、全員参加できたのか。
生涯学習課長	欠席者が数名おり、全5名が出席した。
浜田委員	民族衣装のようなもので出席している方もいたが、衣装の準備ができない方に本市から何かできれば良いなと感想を持った。
	(6) 第77回優良公民館表彰について
生涯学習課長	資料に基づき説明
教育長	ここ数年連続して受彰しているが、文部科学大臣表彰をこのように多く受けているのは全国的にも珍しいのではないか。
生涯学習課長	県内で毎年3館が表彰されている。本市から県に推薦し国に挙げるが、毎年、本市から優良公民館として表彰されていることは、実践が評価されて嬉しいことである。
6	動議の討論
教育長	発言がないので、動議はないものとする。
7	その他
	(1) お知らせ
学校教育課長	① 第9回 キッズビジネスタウン®の実施について
生涯学習課長	② 鹿屋市美術展について
教育長	次回の定例教育委員会は、令和7年2月12日(水)15時00分から教育長室で行う。
8	閉会
教育長	以上をもって1月定例教育委員会を閉会する。
	以上